

平成16年度

# 東京都教職員研修センター紀要

第4号

平成17年3月

## あ い さ つ

東京都教職員研修センター所長

齋 藤 尚 也

子どもたちに基礎・基本を徹底し、「生きる力」をはぐくむことの一層の充実を目指して、中央教育審議会は平成 15 年 10 月に「初等中等教育における当面の教育課程及び指導の充実・改善方策について（答申）」を示しました。これを受け、平成 15 年 12 月には、学習指導要領の一部が改正されました。いずれも、教育課程及び指導の改善・充実を求めるものです。

東京都教育委員会においても、これからの課題は、教育改革の本質とも言うべき授業改善であるととらえています。授業改善にかかわる施策として、児童・生徒の実態把握と指導方法の改善を目的とした「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を実施するとともに「授業改善ハンドブック」を示し、各学校の指導の改善・充実を図っているところです。また、これまでの施策を見直し、2・3 年次授業研究や（仮称）「東京教師道場」など、教員の資質・能力の向上を図るための新たな取り組みを行うことにしています。

東京都教職員研修センターにおいても、研修や研究を通して、教員の資質・能力の向上に取り組んできました。研修については、人事考課制度と連動した研修体系に基づき、教員のライフステージに応じた研修や教員一人一人の課題に応じた研修を実施してきました。一方、研究については、その成果を具体的に教員の資質・能力の向上や教育課題の解決へ反映することを目的に、当面する教育課題や学校のニーズをもとに研究主題を設定し、当センターの研修に資する研究や各学校での授業改善に資する研究を実施してきました。

各学校や教育委員会等におかれては、本紀要に掲載した研究の内容や成果を教員の資質・能力の向上や教育課題の解決に役立てるとともに、教育活動の改善・充実や家庭・地域に対する普及・啓発に活用していただきたいと願っております。

終わりに、研究の推進にあたって検証授業や調査、協議等に協力をいただいた区市町村教育委員会や都立学校をはじめとした各学校の関係者、各委員の皆様にお礼を申し上げます。

平成 17 年 3 月

## 目 次

通常の学級に在籍する児童・生徒の学習障害(LD)、注意欠陥 / 多動性障害 (ADHD)、 高機能自閉症等に対応した教育的支援に関する研究	---	3
豊かな人間性と創造性を養うものづくり教育に関する研究	-----	27
人権尊重の精神をより一層高めるための指導の改善 - 人権教育のねらいを明確にした教科等指導 -	-----	51
中高一貫教育校における教養教育に関する研究 - 6年間を通じた学習プログラムの開発 -	-----	77
学習内容の習熟の程度に応じた指導に関する研究	-----	105
e-Learningの教員研修への活用に関する研究	-----	127
東京都公立幼稚園 5 歳児の運動能力に関する研究 (その 9 )	-----	151